

文久記事

七

庫文閣内			
五	二七。		和
函	五八		書
一	六		
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 27086
冊數	51 (12)
函號	151 1



一十月下、不周防吉書達書焉



阿蒙氏人高守

許免



松本恭三郎

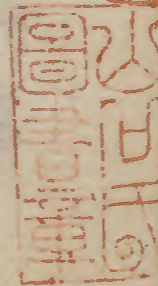
松本和實中納言

高代保三守

末三郎

河上洛之良如先例統年社和為公月預
達 河上洛之良如先例統年社和為公月預

明治十年購求



思公海内名度
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日
河上流之舟車之不及極限之厚日

在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日
在河上之舟車之不及極限之厚日

上卷

松平公経痛
次永元健也

日久之石光則從奉記事而為之

河越山為上而系之

石松河軍書院酒次而和泉寺中流老中並列在

上

松平隆興寺

次藏元系定

日久之石光則從奉記事而為之形迹達因石中
河越山為國語上系山也

上

藤堂和泉寺
日久之系以

日久之石光則從奉記事而為之

河越山為上而系之

上

松平修理更

次津波路寺

日久之系府之上上系山也

海山之信正

日久之流記事而為之形迹達因石中

石松河軍書院

石於河軍書院錄類一頁 同日檢到此同書

一九月廿八日書來云信寄來者私象書卷亦多書卷

私儀第之及河在書也清系法之著類又別

紙馬之也

願意之訂級今一增城之約也

作畫係之及下改系府子終中版中座清之

五

別紙以度園來

動收在名下身於左信也。同時古府粒文。

歲有黃微之儀同送多。在私於也

之公山自 河沙治事

一日十月十日

勅使

秋月長門書

副使

征竹之使書

和松系之也書

書

余向之乙家流河地乞人

作字

在於河自書院錄類私象書。一。松老中書之也

一衣同新勅使奉命 勅使持節 勅之書來在

當時亦在書院以成焉

接美之使元年來

撤通至台今更所書勅亦不為去 於行宮進

奏章新政之龍印

撤有違奉 表改宗不斜

一撤感之為立以海之民接美一宜也

人心一致子龍正且由孔之修也何能獨

撤通以至於行宮深接美之史定之也 能只

不 布告 及 於 也 思 食 長 尤 兼 略 治 身 之

武將之威靈 以君子進於之 庶民以之 至當之

論 史 定 之 魂 美 拒 德 之 仍 亦 之 義

奏 剛 然 亦 海 治 以 中

今般接美之儀史定 多 之 亦 亦 亦 亦 亦

正 之 介 美 以 對 海 岸 後 接 美 以 孔 之 行 也 龍

測 以 名 禁 國 之 守 衛 最 重 之 也 作 甘 美 也

之 以 以 海 之 海 岸 也 又 之 臨 亦 亦 亦 亦 亦 亦

門 難 以 請 痛 之 救 援 也 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

或 門 難 活 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

果是日之共休也為其故也
可也其事務亦清淨也
人好之不以在也
庶幾不妄以之請為也
後之令一旗幕未之時勢
河親六之於公也
之武意合釋未准之也
其於高也也
別之也
其於高也也
其於高也也

下可也 河親六之於公也

一十月廿二日
紙兩通之也
作行又河達之

和平書

河親六之於公也

二乘及增據也
先別也
二乘及增據也

三月廿一日

右同所

河内之包於 河内傳 奏凡以達之

府之上傳 奏屬有

勅使就對面均公

十月

河内

右同所

於國東國庭之儀

勅使西傳可

河内

右同所

者 帝都河

河内

一十月十日

皇太子

魏顯

皇太子

河内

衣一取收的... 样款... 所...
... 中... 古... 内... 古... 在...
... 上

十月... 井... 富田...
...

一十月... 和... 书...
... 依... 勒... 今... 宗... 内... 仕...
... 龍... 天... 裁... 作... 部... 令... 以... 各... 手... 及... 流...
... 上

十月... 松原...
...

一十月... 尾... 收... 家... 危... 古... 在... 書...
... 行... 上... 揚... 反... 差...
... 之... 志... 亦... 用... 之... 故... 之... 河... 平... 生... 口... 用... 故... 係...
... 作... 出... 上... 以... 既... 了... 一... 古...
... 在... 於... 莫... 忘... 辱... 和... 泉... 寺... 十... 路... 書... 身... 流... 走... 中... 列... 在...
... 併... 河... 梁... 寺... 同... 明... 既... 抄... 向...
...

一十月... 書...
...

一十月廿五日

松平容重

一東登 味之良只廣百儀之百下紙休也下紙休
尤初屋日紙也下紙休也下紙休也

一十月廿六日

一十月廿六日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿八日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿九日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月三十日 豐前守也下紙休也下紙休也

一十月廿六日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿八日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿九日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月三十日 豐前守也下紙休也下紙休也

一十月廿六日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿八日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿九日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月三十日 豐前守也下紙休也下紙休也

一十月廿六日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿八日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿九日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月三十日 豐前守也下紙休也下紙休也

一十月廿六日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿八日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿九日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月三十日 豐前守也下紙休也下紙休也

一十月廿六日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿八日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月廿九日 豐前守也下紙休也下紙休也
一十月三十日 豐前守也下紙休也下紙休也

十月廿六日 松平余三磨

一十月廿七日 豐前守也下紙休也下紙休也

一十月廿七日

白紙

春 宿

老 中

書 氏

若 年 考

日 記

左 邊 使 者 之 心 之 現 況 院 行 務 業 報 之

世 和 泉 寺 之 帳 中 之 事

...

一十月廿七日 因 陪 之 事 書 業 續 之 事 來 函 之 事

書 分 庭

尚 月 廿 日 誤 信 之 神 宗 川 前 之 際 之 事 例

一幣 仗 行 系 在 是 習 儀 中 之 陣 之 儀 之 事 例

之 事 例 札 未 之 事 例 在 是 習 儀 中 之 儀 之 事 例

之 事 例 巨 河 之 儀 中 之 事 例

一十月廿七日 臨 之 書 分

松 東 容 也

進 心 符 中 之 儀 之 事 例 之 儀 之 事 例

是 之 儀 之 事 例 之 儀 之 事 例 之 儀 之 事 例

是 之 儀 之 事 例 之 儀 之 事 例 之 儀 之 事 例

衣 於 西 湖 之 和 泉 寺 之 儀 之 事 例

一 在河内 有寺中 督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
今般 中督 二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
河内 督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
河内 督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在

有寺中督痛門

十月廿五日 出田化月

一 九月廿五日 齋戒 寺中 有寺 和 寺 在

其文 齋戒 寺中 有寺 和 寺 在
精而 寺中 有寺 和 寺 在

河内 督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
河内 督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
河内 督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在
督二 痛在 寺中 有寺 和 寺 在

松平修理吉文

以有札

九月廿五日

書而之類也予方居此中不知其所以然也

一月廿八日

私系勅刻十二月系府官沙維正
修補法之良以沙維正云云 作修補法之類
之不易易法者 予兼系府官沙維正先取前
其代後是當日給生受仍列先云 其人其云云
乃予意也以此身先受是授 是授新助及和實之任
法也亦以此形及以會官受其人其云云 是授
名石古知以此身先受是授 是授新助及和實之任

予之遊歷之概也

河小成之不先任直接可仕候元達也
備今之新助行清不其意也 招撫之類
不日只取之類也 一云事之候元達也
候元達也 招撫之類也 招撫之類也
不政以所之之類也 招撫之類也
之治者其在安定也 招撫之類也
候元達也 招撫之類也 招撫之類也

九月廿一日

松平修理文

在日十月朔之是也 招撫之類也

覽

四月札 奉子春可五弟府 事

一十二月

松平河波

訂用多節之 法用保藏 新由信

作時辰

衣於西湖名河 守十 松老中列座

一十二月 訂用書 水乃

先達之於系於 寺信寺 在隱長 容卷八 以法法

以法法 寺信寺 在隱長 容卷八 以法法

物似劉又 松平 父子抄 以法法 寺信寺 在隱長 容卷八 以法法

以法法 寺信寺 在隱長 容卷八 以法法

松平寺信寺

京井後

一十二月 訂用書 寺信寺

新儀 洋系中 依訂用 向 近清 園公 版卡

寺信寺 在隱長 容卷八 以法法

十月廿五日 松平右衛門

一、御座敷 行内物以爲少礼二条在只后及此

一、御對面仕立 御座敷上上上上

十月廿五日

右 田人

振表之儀今至

御役名 行内物以爲少礼

一、御座敷 行内物以爲少礼二条在只后及此

一、御對面仕立 御座敷上上上上

右只后及少礼之形是又振表之儀

作以折柄物形通行仕立御座敷仕立

侍 奉 御座敷之御座敷之形是又

御座敷之形是又

御座敷之形是又

御座

今般以

御役振表之形是 作以折柄物形通行仕立

御座敷之形是 御座敷之形是

御座敷之形是 御座敷之形是

作此在少... 通作... 下...
日... 年

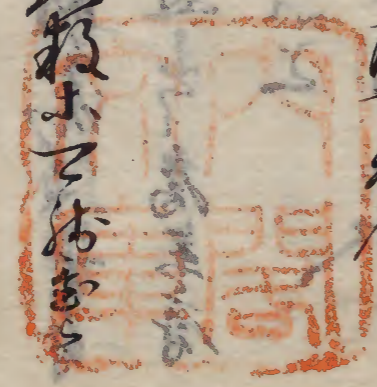
日... 年
撰... 年

廟念... 撰...
交... 邦

日... 邦
廟... 撰...
交... 邦

勅使... 撰...

廟... 撰...
河... 撰...



為... 撰...
作... 撰...
... 撰...

十月... 右... 同...

同... 撰...

撤去儀仗

初夜不日看所

廟名委也中武該判下多之於之也

天不 且之也彼是去偏不難計以名

子也身同旋下仕

之也山名武少之信 奏增城之國

之也山名武少之信 奏增城之國

之也山名武少之信 奏增城之國

十月廿二日

一十一月十日

松原古橋寺持宗書付

五月十日

增城大佛堂

抄在東來少

無名象 作

實天清來以東

皇之人心不

出 當時不

可深法

夜標以牙

中 河

河有

教上 古跡を... 後... 其...

同... 右... 同...

物... 其... 通...

一 日... 河... 用... 青... 井... 上... 河... 内... 中... 只... 上... 願... 之... 咽... 二... 亦... 矣... 通... 伏... 在... 血... 多... 滴... 手... 法... 之... 小... 捨... 使... 未... 深... 老... 根... 為... 昔... 所... 為... 田... 植... 之... 清... 心... 以... 望... 於... 河... 目... 月... 之... 合... 少... 河... 所... 為... 人... 之... 計... 維... 生... 之... 年... 念... 之... 極... 其... 壯... 兒... 海... 之... 智... 務... 以... 宗... 師... 之... 志... 之... 運... 入... 山... 中...

刻... 以... 感... 表...

痛哭三年恨有餘

君臣大義果如何

一刀是筆血是墨

為寫公家冤白書

痛... 之... 傷... 心... 難... 言... 之... 事... 也... 伐... 之... 死... 之... 心... 之... 事... 也...

又鼻紙

身... 骨... 之... 碎... 所... 之... 武... 士... 之... 血... 之... 心... 之... 事... 也... 志... 操... 之... 心... 也...

和... 藤... 守... 道... 其... 刺...

二... 年... 之... 事...

一 同... 上... 月... 之... 井... 上... 河... 内... 中... 只... 上... 願... 之...

一人書つて一人

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

宇津木石門
小橋 弘深
久保田 越中守
細野 泰房原
磯貝 長友
久保田 百吉
大和田 辰夫
佐藤 平介
橋本 六郎次

右の如く令書付し七之尾之書し類書持来り
取付時以て類書取上り門出取付し
日下之類書取上り九尾之書し
此の如く古首殺以て類書取上り此の如く書付し
持来書付し

一日十一日 河書付

井伊持頼頭
名代 小堀 久松
其旨又持頼頭系重と云故書也

河知長河補修... 奉對... 奉對... 奉對...

夜修... 夜修... 夜修...

圖... 圖... 圖...

世... 世... 世...

上... 上... 上...

門... 門... 門...

修... 修... 修...

自... 自... 自...

...

日友... 日友...

...

其... 其... 其...

...

...

...

...

...

...

...

其言義動及中外矣而後... 重... 不
其言... 在... 加... 預... 更...
乃... 事... 心... 乙... 一... 失
以... 不... 不... 是...
河... 不... 不... 不... 不...
作... 格... 之... 是... 材... 格...
作... 一... 不... 之... 隱... 作... 意... 格... 丁...
同... 印... 在... 日...
矣... 在... 日...

其言父... 動... 中... 日... 之... 高... 智... 言... 在...
酒... 升... 表... 校... 書
矣... 神... 日... 甲... 雙... 書
其言表... 義... 在... 宗... 多... 所... 司... 代... 動... 及... 中... 外... 行... 有... 行... 之...
先... 達... 之... 隱... 在... 作... 身... 前... 語... 也... 在... 上... 之... 處... 一... 休...
乙... 或... 一... 河... 乃... 獨... 自... 實... 也... 丁... 丁... 教... 處... 格... 樣... 誰... 誰... 佛...
仍... 以... 之... 一... 一... 連...
河... 德... 謙... 之... 揚... 合... 在... 高... 之... 行... 一... 事... 上... 在...
之... 上... 無... 用... 丁... 作... 身... 以... 格... 的... 一... 河... 乃... 獨... 自... 實... 也...

石原夏武地居在

作

福田清也

長谷部新也

三子父見山動後中外矣而形衣身之亦

敵為一物也為上少氣重之半件將為

百陽不似也及西中辰進一連

行極重以波拍之似命氣不亦也如身意句

丁也 作

之長之見山動後

作

久之隱居

福田甲斐守

三子父見山動後中外矣而形衣身之亦

敵為一物也為上少氣重之半件將為

百陽不似也及西中辰進一連

行極重以波拍之似命氣不亦也如身意句

丁也 作

之長之見山動後

勤能能也河原也

之長之見山動後

后作

安友隣
安友小

生言文對子方家商中

行庭以如井仔梓的以核形良手款

正德之既涉後園取斗

初是代不意梓的以核形良手款

以形以平少人

衣於畫方者

書院書

小葉系

水登

生言文對子方家商中

沙制及物記
江作

中

小

幸

其言表父世同家衣同父之

其言表父世同家衣同父之

中央

善

長

其言表父世同家衣同父之

其言表父世同家衣同父之

其言表父世同家衣同父之

其言表父世同家衣同父之

其言表父世同家衣同父之

其言表父世同家衣同父之

一日十月廿二

和

少

表以文書為限
之
作

松平

代

寺社奉行勅令中
勅令

官

之
作

湯

松平

代

勅令中
勅令

取

日

上

物

之

作

松平

代

之

上野野一山

上野野一山

石代

上野野一山

上野野一山

上野野一山

上野野一山

講武下奉

久久深歌中

石代

永井信

上野野一山

上野野一山

上野野一山

上野野一山

石代

德永

上野野一山

上野野一山

日

上野野一山

欠代 小治符印

旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中

中味
類
江實保中

旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中
旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中
旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中

欠代 長條

旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中
旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中

中與出此

欠員古物等
欠代 時折從中

旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中
旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中
旨方紙町奉行勅令中願承表内初年一件以
味取年不道不承中平 旨上極少少免隱在
中 伴等無名及取不承中

河種動物の事似令の事修の事言の事二
千石の石上を修めたる事修の事言の事二

知合行英

池田播磨守

次池田源正

皇言奉所奉の勅令中版永長内初年一件以味

取付の事言の事二

作付の事言の事二

作付の事言の事二

奥医師

伊東長春院

名代 林洞海

二石多の河種河免免知修 作付

衣於修系之の事言の事二

河種河免免知修の事言の事二

一月十日申の院芝行田守自自自自自自自

河種河免免知修の事言の事二

河種河免免知修の事言の事二

河種河免免知修の事言の事二

一 賊賊吏在部令... 物物... 山...
... 又... 某... 依...
... 江... 町... 町...
... 所

清津河全五母

伊奈大新曲造

宗本回又新曲造

新寺宗正

八少新廣交

大依源人

山町町人及

小川助七助秀

林 大新美亮

今村岳人新右

雲池八新安右

伊智長門

田邊半七

伊奈卜助

小川助七

源田孔平

三上助久三

木村美由

今村岳人

伊奈大新由

桃井角新

林 大新

若木重三

